

2023年度全国通訳案内士試験

試験問題

日本歴史

本文 6 ページ

各問題に対する解答はマークシートの解答欄にマークすること。例えば と表示のある問題に対して④と解答する場合は、マークシート の解答欄の④にマークすること。

- (1) この仏頭は、7 世紀後半の白鳳文化を代表する作品で国宝に指定されている。もと山田寺に在ったものであるが、後に法相宗の大本山であり藤原氏の氏寺として栄えた寺院に移された。所蔵されている寺院として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(4 点)



- ① 興福寺 ② 唐招提寺 ③ 東大寺 ④ 法隆寺

- (2) 遣唐使のなかでは、長期にわたって唐で学んだ阿倍仲麻呂、、玄昉らが名高い。阿倍仲麻呂は帰国できないまま、玄宗皇帝の寵を受けて高官に上り唐で死去した。同じ年である 735 年に帰国した と玄昉は、20 年近い在唐中に得た新しい政治・軍事・文化・仏教などの知識や文物を日本にもたらし、奈良時代の政治や文化に大きな影響を与えた。

空欄 a に入る人物として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

(3 点)

- ① 淡海三船 ② 吉備真備 ③ 菅原道真 ④ 藤原広嗣

- (3) 「お伊勢さん」と呼ばれる伊勢神宮は、天照大御神をまつる内宮（皇大神宮）と豊受大御神をまつる外宮（豊受大神宮）、および両社に所属する百を超える宮社からなっている。「式年遷宮」は ごとに行われ、7 世紀の の時に定められ、次代の持統天皇の時代に恒例化したと伝えられている。鎌倉時代末期には、外宮の神官であった により伊勢神道が大成され、後世の神道思想に大きな影響を与えた。

空欄 a～c に入る組み合わせとして正しいものを、次の①～④から選びなさい。

(4 点)

- | | | |
|----------|--------|--------|
| ① a 15 年 | b 天智天皇 | c 鴨長明 |
| ② a 15 年 | b 桓武天皇 | c 北畠親房 |
| ③ a 20 年 | b 聖武天皇 | c 吉田兼俱 |
| ④ a 20 年 | b 天武天皇 | c 度会家行 |

- (4) 7 世紀後半から律令による政治が進められ、文武天皇のもとで刑部親王・藤原不比等らにより a が制定された。これにより、律令制度による政治の仕組みはほぼ整った。その地方組織としては、全国は畿内・七道に行政区分され 60 数か国の国々が置かれ、中央から派遣された国司により統治された。例えば、b の代表的歌人であり、その編者とも目されている大伴家持は、越中守や因幡守などの国司を務めている。8 世紀後半には地方政治の混乱と共に、令外官（令の規定にない官職）として、前任国司と後任国司の交替を監督する c が設置された。さらには、9 世紀末から 10 世紀前半になると、任国に赴かない国司が現れると共に、任国に赴く最上席の国司は受領と呼ばれるようになる。受領の中には巨利を得ようとする強欲な者も現れ、律令制度は変質してしまう。

問 1 空欄 a～c に入る言葉として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(4 点)

- | | | |
|------------|---------|--------|
| ① a 飛鳥浄御原令 | b 懷風藻 | c 押領使 |
| ② a 近江令 | b 古今和歌集 | c 検非違使 |
| ③ a 大宝律令 | b 万葉集 | c 勘解由使 |
| ④ a 養老律令 | b 文華秀麗集 | c 追捕使 |

4

問 2 下線部にある強欲な受領の例として、藤原陳忠が谷底に落ちてでも平茸を取ることを忘れなかった、という話が出ている説話集として正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 『伊勢物語』 ② 『栄華物語』 ③ 『今昔物語集』 ④ 『平家物語』

5

- (5) 平安時代の 10 世紀後半から 11 世紀頃の政治は、摂関政治と呼ばれる。その基礎は、藤原氏の北家から出た藤原冬嗣、その子である a により築かれた。a は、臣下として初めて摂政となった。次いで、a の養子となった藤原基経は関白となった。また、藤原氏北家は他氏を排斥し 969 年の安和の変で左大臣の b を左遷して、その権力を確立した。10 世紀末に、藤原道長が登場して、その全盛期を迎えた。道長は 4 人の娘を中宮や皇太子妃などにして、その生涯の長きにわたり権勢をふるった。娘のひとり彰子は、一条天皇の中宮となっている。

問 1 空欄 a と b に入る人名として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(4 点)

- | | | | |
|----------|--------|----------|-------|
| ① a 藤原実頼 | b 菅原道真 | ② a 藤原忠平 | b 橘逸勢 |
| ③ a 藤原時平 | b 伴善男 | ④ a 藤原良房 | b 源高明 |

6

問 2 下線部にある彰子に仕えた人物として正しいものはどれか、次の①～④から一つ選びなさい。(3 点)

- ① 小野小町 ② 清少納言 ③ 菅原孝標女 ④ 紫式部

7

- (6) 鎌倉時代の武士は、騎射三物といわれるような武芸を習練した。この騎射三物とは、流鏑馬・犬追物と もう一つは何か、次の①～④から選びなさい。(3 点)

- ① 槍術 ② 笠懸 ③ なぎなた ④ 卷狩

8

- (7) 津軽半島の a は、蝦夷地交易の要港として堺や博多と共に三津七湊の一つに数えられていた。鎌倉時代から室町時代にかけて、この地を支配していた豪族は安藤（安東）氏であった。なお、室町末期か、戦国時代に成立したと考えられている『廻船式目』に、日本の十大港湾として、「三津七湊」が記されている。

空欄 a に入る場所として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

(3 点)

- ① 土崎湊 ② 十三湊 ③ 三国湊 ④ 輪島湊

9

- (8) 室町幕府の3代将軍足利義満は、1401年に明に使者を派遣して同国との国交を開いた。1404年からは、明に朝貢するという形の日明貿易が開始された。その貿易は、勘合を持つ船だけしか a の港に入ることができなかった。日明貿易は4代将軍足利義持の時に一時中断したが、6代将軍 b の時に再開して16世紀半ばまで続いた。

問1 空欄 a と b に入る言葉として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

(4 点)

- ① a 富山浦 b 足利義昭 ② a 坊津 b 足利義詮
③ a 寧波 b 足利義教 ④ a 揚州 b 足利義尚

10

問2 日明貿易における日本の輸入品として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

(3 点)

- ① 硫黄 ② 生糸 ③ 扇子 ④ 刀剣

11

- (9) 1467年に始まった応仁の乱は、1477年までの11年間、細川勝元を大将とする東軍、山名持豊（宗全）を大将とする西軍とに分かれ京都を主戦場として戦われた。その原因には様々な要因が関わっているが、直接的契機は畠山・(ア) 斯波の両管領家における家督争い、次いで起こった八代将軍足利義政の後継をめぐる家督争いであった。この戦乱の影響も大きく、室町幕府の権威の失墜、(イ) 守護大名の領国内における守護代や有力国人の台頭、戦乱を避けた公卿や僧侶たちによる文化の伝播などが挙げられる。

問1 下線部（ア）の斯波氏は越前の守護であったが、一乗谷を居館とした重臣に取って変わられた。この重臣として正しいものを、次の①～④から選びなさい。

(3 点)

- ① 浅井氏 ② 朝倉氏 ③ 上杉氏 ④ 前田氏

12

問2 下線部（イ）に関連して、一向宗の門徒が国人と手を結び守護の富樫政親を倒して、百年にわたり支配した地域がある。「百姓のもちたる国」と呼ばれた国はどこか。正しいものを次の①～④から選びなさい。

(4 点)

- ① 加賀 ② 丹波 ③ 能登 ④ 若狭

13

- (10) 尾張の戦国大名であった織田信長は、1560年に駿河の今川義元、1567年に美濃の斎藤氏を倒し、(ア)翌1568年に入京した。1575年に三河で起きた a では、甲斐の b を破った。翌1576年には、壮大な c の築城を開始した。(イ)その城下では、座の特権を廃止して自由な商取り引きを保障する楽市令を出した。

問1 空欄 a～c に入る組み合わせとして正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3点)

- | | | |
|-------------|---------|-------|
| ① a 姉川の戦い | b 武田信玄 | c 安土城 |
| ② a 長篠の戦い | b 武田勝頼 | c 安土城 |
| ③ a 三方ヶ原の戦い | b 武田信虎 | c 岐阜城 |
| ④ a 山崎の戦い | b 武田耕雲斎 | c 岐阜城 |

14

問2 下線部 (ア) に関連して、織田信長と共に入京して、室町幕府第15代将軍となった人物は誰か。正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ① 足利義昭 ② 足利義植 ③ 足利義輝 ④ 足利義晴

15

問3 下線部 (イ) の城下には、織田信長に許されてセミナリオが建設された。その設立に関わった宣教師は誰か。この宣教師は、天正少年使節の派遣を提案して実現させた人物でもある。正しいものを、次の①～④から一つ選びなさい。(3点)

- ① フランシスコ・ザビエル ② トーレス
③ ヴァリニャーノ (ヴァリニャーニ) ④ ガスパル・ヴィレラ

16

- (11) 徳川幕府は、江戸と地方を結ぶ重要な交通路として江戸の日本橋を起点に (ア)東海道、中山道、甲州道中 (街道)、(イ)奥州道中 (街道)、日光道中 (街道) の五街道を整備した。

問1 下線部 (ア) に関連して、江戸時代の東海道旅行記をユーモラスに描いた『東海道中膝栗毛』の作者として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 式亭三馬 ② 十返舎一九 ③ 為永春水 ④ 仮名垣魯文

17

問2 下線部 (イ) に関連して、江戸から奥州街道を北に向って旅立った松尾芭蕉は俳諧紀行文『おくのほそ道』をのこしたが、この旅で立ち寄っていない (旧) 国名について正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 下野 ② 常陸 ③ 出羽 ④ 越後

18

- (12) 江戸時代には、長崎の出島を窓口として西欧の知識や技術を取り入れていた。a は、長崎に遊学し、1838年に大坂に適々斎塾 (適塾) を開いた。また、長崎で生まれた高島秋帆はオランダ流の砲術を学び、江川太郎左衛門英龍などに伝えた。江川太郎左衛門英龍は、その後、伊豆の菰山に b を築いた。

問1 空欄 a に入る人名として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3 点)

- ① 緒方洪庵 ② 佐久間象山 ③ 二宮尊徳 ④ 福沢諭吉

19

問2 空欄 b に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3 点)

- ① 砲台 ② 造船所 ③ 反射炉 ④ 紡績工場

20

- (13) 江戸城は、室町時代に太田道灌が築城、1590 年に徳川家康が入城して改築し、a の代までにおおむね完成した。天守は b により焼失し、再建されることはなかった。幕末には、尊王攘夷派の志士に幕閣が襲撃された桜田門外の変、c 外の変の舞台ともなった。

問1 空欄 a に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(4 点)

- ① 徳川家光 ② 徳川吉宗 ③ 徳川綱吉 ④ 徳川家継

21

問2 空欄 b に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(4 点)

- ① 富士山大噴火(宝永大噴火) ② 明暦の大火(振袖火事) ③ 安政の大地震 ④ 戊辰戦争

22

問3 空欄 c に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(4 点)

- ① 田安門 ② 清水門 ③ 山下門 ④ 坂下門

23

- (14) 長州藩にあった私塾、(ア)松下村塾は、明治維新の原動力となる尊王攘夷派の人材を輩出した。そのなかの一人、高杉晋作は 1863 年、a を組織して、倒幕運動の先頭に立ってたたかった。

問1 下線部(ア)に関連して、松下村塾を主宰した人物として正しいものを次の①～④から選びなさい。

(3 点)

- ① 木戸孝允 ② 吉田松陰 ③ 橋本佐内 ④ 久坂玄瑞

24

問2 空欄 a に入る語句として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3 点)

- ① 陸援隊 ② 海援隊 ③ 彰義隊 ④ 奇兵隊

25

- (15) (ア)第一次世界大戦によって日本経済が発展し、工業化、都市化が進むと、都市には官吏(公務員)や銀行員、会社員といった高学歴の俸給生活者(サラリーマン)など新しい都市中間層が誕生した。また、電話交換手、タイピスト、バスガール(バスの車掌)など(イ)女性の社会進出も進んだ。洋服を着る人が増え、洋食が人気を集めるなど、生活様式が徐々に変わり、電灯、水道、ガスなど都市基盤の整備が進んだ。都市の外縁部も人口が増え続け、郊外と都心を結ぶ(ウ)私鉄が続々と開業した。

問1 下線部(ア)に関する説明で、正しいものを次の①～④から選びなさい。(4点)

- ① 戦地での経済の混乱に乗じて、日本からの輸出が伸びたため大戦景気に沸いた。
- ② 大戦後のヨーロッパにおける復興需要が好況をもたらした。
- ③ 日本軍の参戦により、国内の軍需品の需要がたかまり、景気が好転した。
- ④ この大戦後、第二次世界大戦開戦まで好況が続いた。

26

問2 下線部(イ)に関する説明で、正しいものを次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 当時、男女の雇用機会は均等になりつつあった。
- ② この女性たちは、職業婦人と呼ばれた。
- ③ この女性たちは、女子挺身隊の一員でもあった。
- ④ 大正時代、農村においても女性の地位と賃金は飛躍的に向上した。

27

問3 下線部(ウ)に関する説明で、正しいものを次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 私鉄は、国鉄や地下鉄と相互乗り入れして利便性を向上させた。
- ② 私鉄の多くは、のちに国有化された。
- ③ 私鉄は、一貫して鉄道業に専念した。
- ④ 私鉄は、沿線の宅地開発や、ターミナルデパート経営などにより集客をはかった。

28

- (16) a 9月1日に発生した関東大震災は、死者・行方不明者 10 万人以上という未曾有の大災害となったが、内務大臣、東京市長などを歴任した b が帝都復興院の総裁となって復興事業を強力におしすすめた。

問1 空欄 a に入る年として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 1917 年 ② 1920 年 ③ 1923 年 ④ 1926 年

29

問2 空欄 b に入る人名として正しいものを、次の①～④から選びなさい。(3点)

- ① 床次竹二郎 ② 浜口雄幸 ③ 若槻礼次郎 ④ 後藤新平

30